# CT検査室

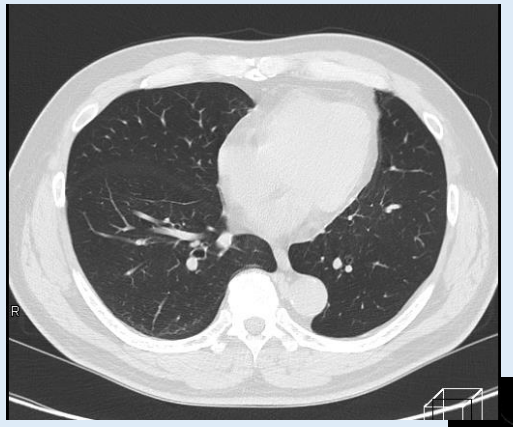
# CT検査とは…

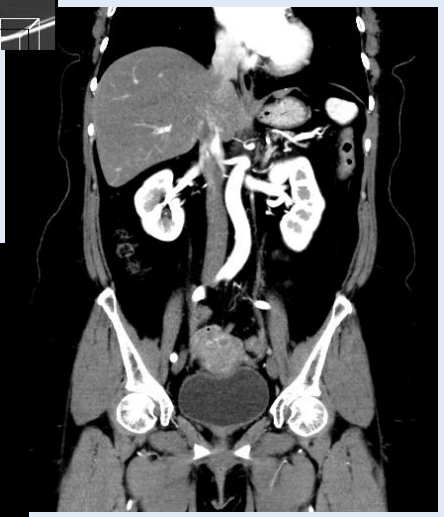
◆CT(Computed Tomography)はコンピューター断層撮影といい、人体の周囲を回転しながらX線を照射し、透過したX線をコンピューターで解析することで人体の断層画像が得られる装置です

◆短時間で広範囲の画像を得ることが可能です

◆造影剤を使用することで、血管や病変をより鮮明に映し出すことが可能です

◆様々な角度からの画像作成が可能で、立体的な3D画像作成も可能です





# 当院のCT

Canon社製（320 列）
（Aquilion ONE ViSION Edision）

Philips社製（64列）
（Brilliance64）

# 検査の流れ

【問診】
検査に必要な質問をさせていただきます

【準備】
検査に影響が無いように準備、着替えをお願いします

【撮影】
検査中は動かないようにしていただき、呼吸の合図に合わせて息止めを行い撮影をしていきます

【造影CTを受けられる方】

【問診】
身長・体重、最終お食事の時間
糖尿病の治療薬の内服状況
アレルギーなど必要な問診をしていきます

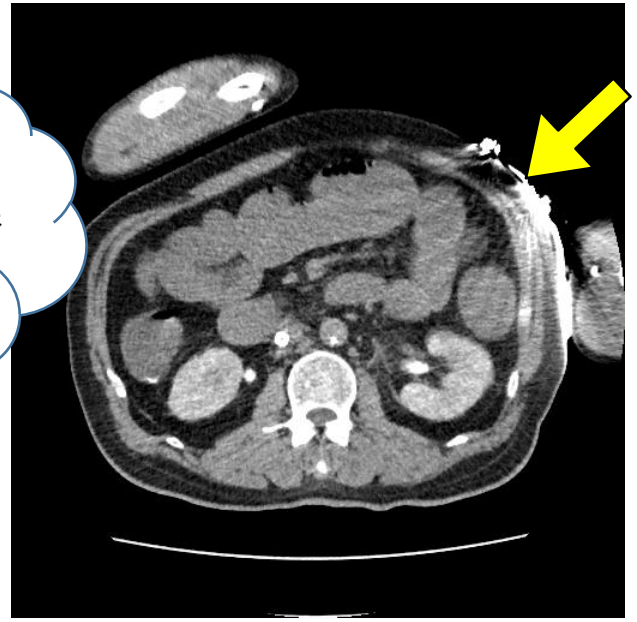
【準備】
着替えや、造影剤を入れるための点滴の針を入れていきます

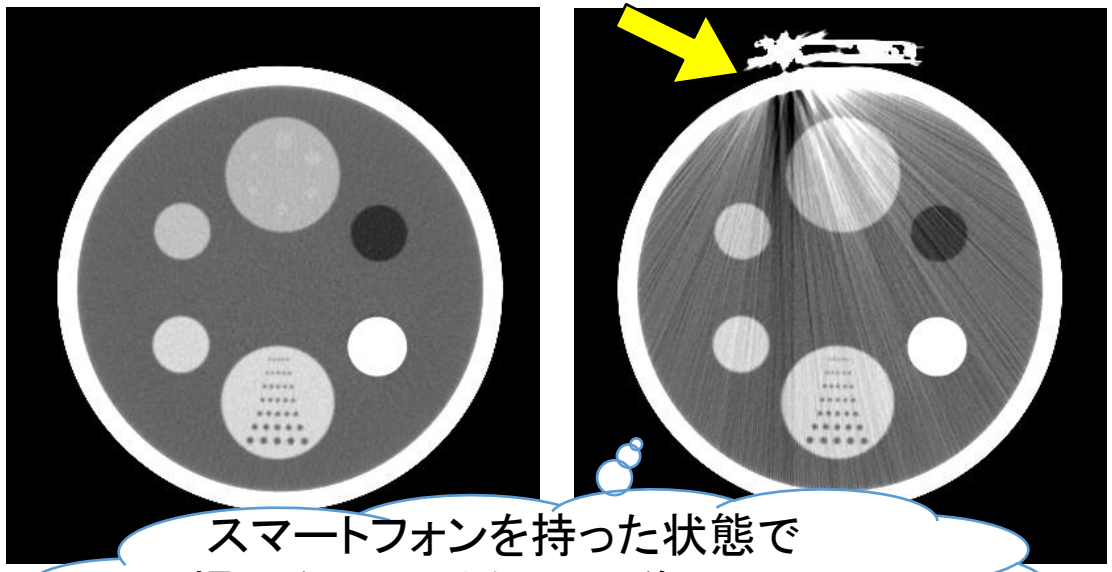
# 注意事項①

◆撮影範囲内に金属がある場合は、アーチファクト（偽画像）の原因となるため
取り外していただいたり、検査着に着替ていただきます

例）義歯・衣服のファスナー・金属製のボタン・下着の金具
ネックレス・ピアス・ヘアピン・カイロ・エレキバン…等

金属がある状態で
撮影してしまうと…





スマートフォンを持った状態で
撮影をしてしまうと、画像にこの
ような影響が出てしまいます

# 注意事項②

◆インスリンポンプ及びCGM・FGM（持続グルコース測定）

◆SCS（植え込み型疼痛緩和用装置）

◆DBS（深部脳刺激療法）

◆ペースメーカー・ICD

★装着したまま検査を実施した場合、機器に不具合が発生する可能性があります。すぐスタッフにお声がけください！

# 小さなお子様がCT検査を受ける方へ

・レストレイナーという器具を使用し撮影を行います
・動いてしまうと適切な画像が得られないため固定をさせていただきます
・検査台からの転落などの危険が無いように検査を行いますのでご安心ください

# 造影検査について①

★お食事は検査の3時間前までにお願いします

★糖尿病の治療薬（ビグアナイド系）を服用されている方は、
5日間（検査2日前～検査後2日）休薬をお願いしています

★使用した造影剤はほとんどが尿として排泄されますので
検査後は普段より多めに水分をお取りください

★授乳中の方は造影剤使用後48時間は母乳授乳を中止されることを
推奨しています（授乳中断が困難な方は事前にご相談ください)

★妊娠中の方または妊娠の可能性がある方は検査前に検査技師に
お声掛けください

# 造影検査について②

【当院CTで使用する主な造影剤】　★使用する造影剤は体重に応じて決定します★

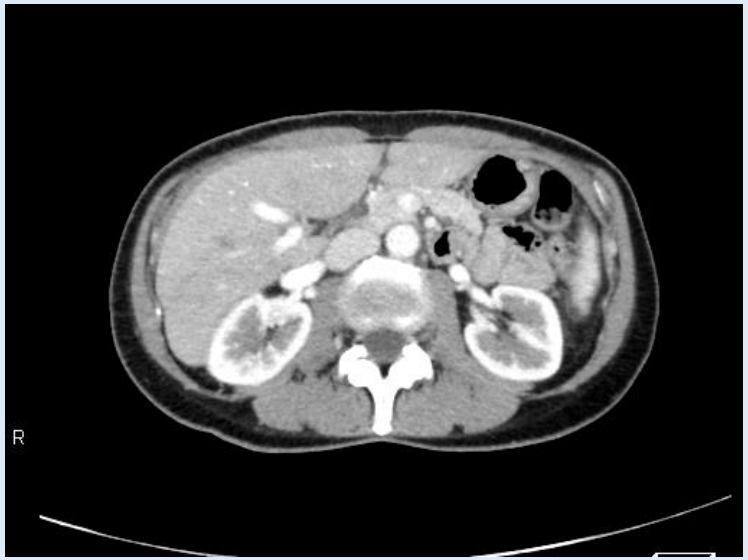
★造影剤は検査の途中で使用します
★造影剤が体内に入ると体が熱くなる感覚がありますが正常な反応なためご安心ください
★検査終了後に副作用が出てしまう場合がありますので、異変を感じたらお知らせください

# 造影検査について③

造影剤を静脈から注入して撮影をすることで、血管、臓器、病変が観察しやすくなります
診断や治療方針の決定にも役立つ1つの情報となります

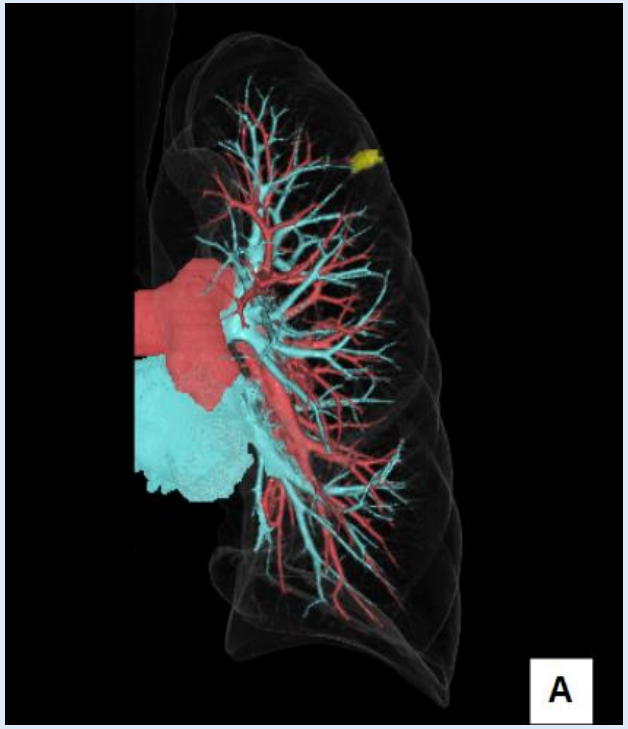
例）腹部のCT画像

【単純画像】

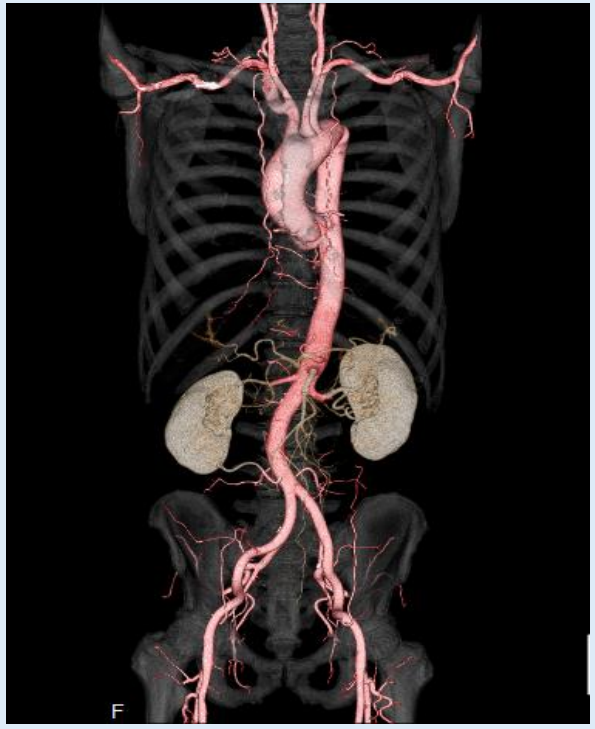



【造影画像】

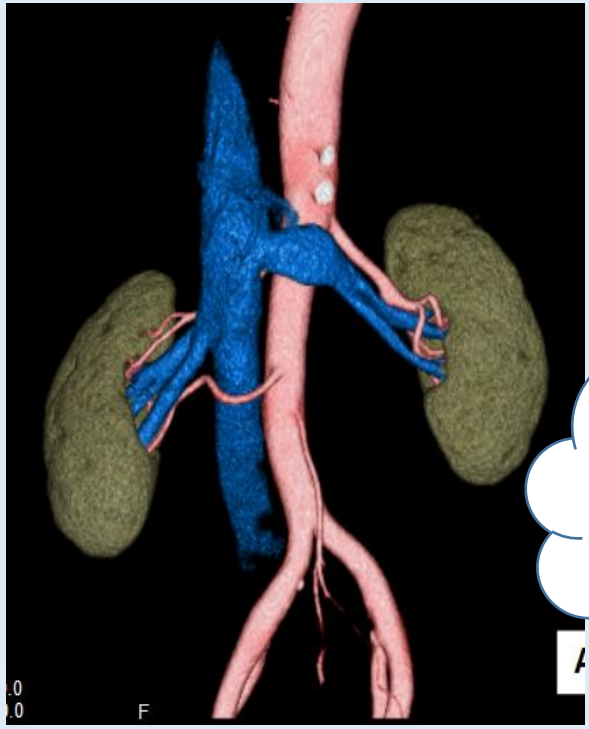
# 造影検査について④




【肺動静脈3D】



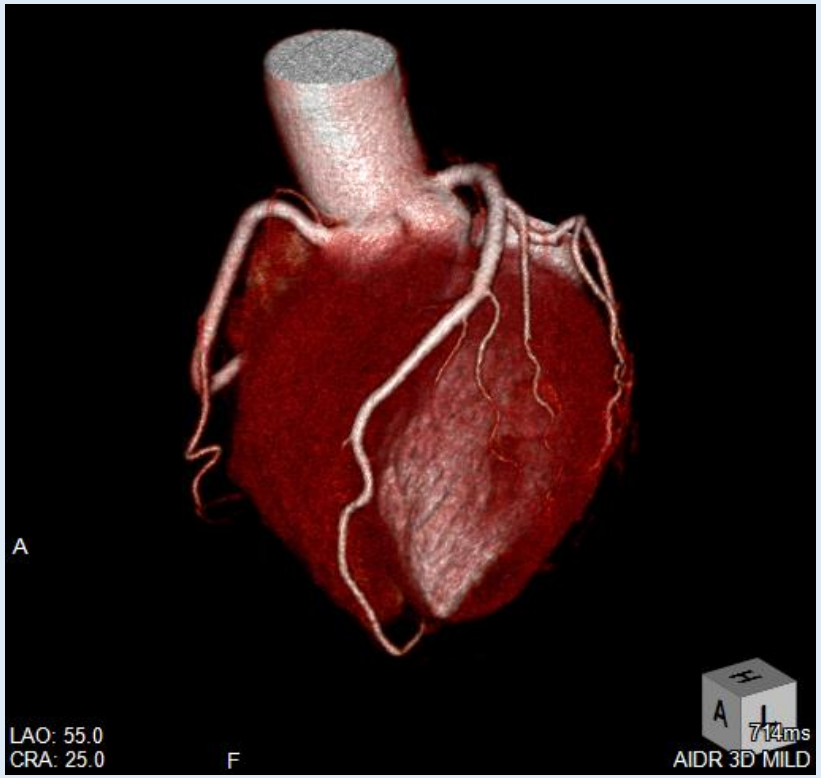

【大動脈3D】



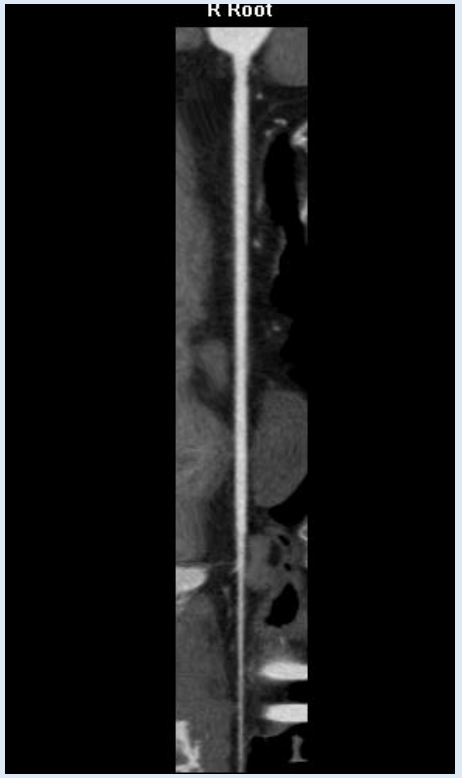

【腎動静脈3D】

造影するとこんな
画像も作ることが
できるよ！

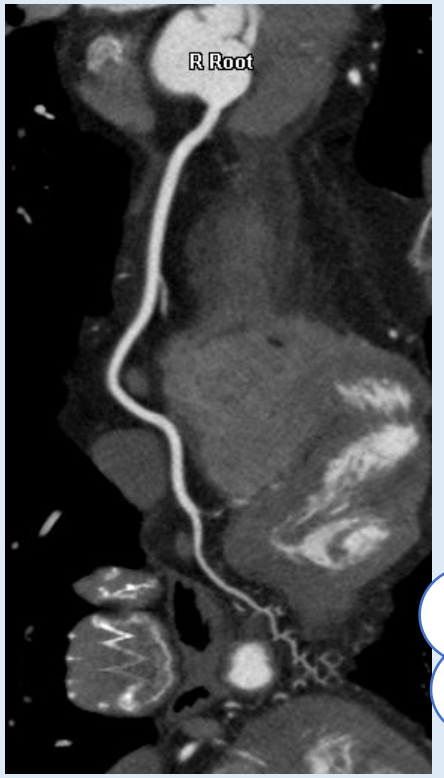
# 冠動脈CT検査




【VR】




【Straight CPR】

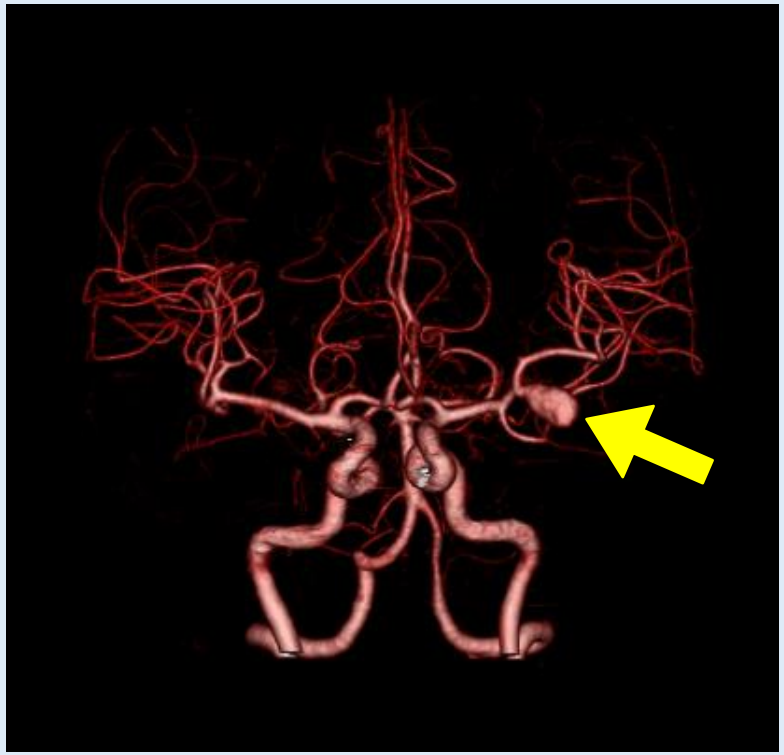



【CPR】

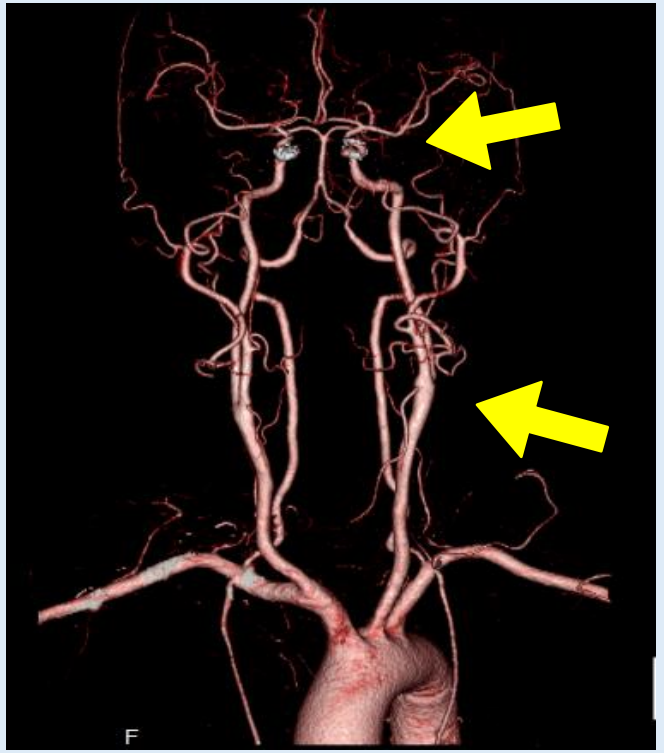
いろんな見方で
血管を見ること
ができるよ！

心臓の血管（冠動脈）の狭窄や石灰化などを評価することができます

# 脳血管・頸部血管CT検査



【脳血管3D】



【頚部血管3D】

脳梗塞や脳出血に繋がる血管の狭窄や瘤などを評価することができます

# 造影CT検査を受けられた方へ

検査で使用した造影剤の副作用として、発疹・蕁麻疹・顔のむくみ・息苦しさ・
のどの違和感・動悸・吐き気・嘔吐などの症状が検査終了後、
あるいは数時間～2・3日後に稀に出ることがあります。

**検査後の体調不良等のお問合せについては、当院まで電話連絡にてご相談下さい。**

**東京女子医科大学八千代医療センター　　☎ 047 – 450 – 6000 (代表)**